

高橋 慶吉
法学研究科・教授

[研究]

日本外交という、自分にとっては新しい分野で具体的成果を出すことができた。*The Diplomat*に発表した評論(“Japan’s Decades-long Diplomatic Transformation”)と『阪大法学』誌上で発表した論文(「平成日本の外交―変革の30年」)である。

また、2024年3月に出版した共著『アメリカ大統領図書館』(大阪大学出版会)に関係する新たなプロジェクトを立ち上げ、4回のミーティングを開催した(6月、8月、9月、12月)。

[教育]

例年と同じ科目を担当した。ただし、全学教育推進機構での授業「国際社会における法と政治」では、内容を大きく変更し、「平成日本の外交と政治」という新しいテーマの授業に挑戦した。

ゼミでは、履修者全員(12名)に論文執筆を求め、その多くが青雲会の懸賞論文に応募した。

講義形式の授業では形成的評価に努め、上記の「国際社会における法と政治」と法学部における専門科目「外交史」において、毎回受講者に対して授業の感想と課題文献の感想を提出するよう求めた。

大学院では、通常の授業を担当するとともに、3名の研究指導に当たった。

[管理運営]

学生支援室の室長を務めた。また、青雲会の学内幹事として通常の業務に当たるとともに、学生組織の立ち上げに関わった。

[社会貢献]

12月に紀伊国屋書店新宿本店において、共著『アメリカ大統領図書館』(大阪大学出版会、2024年)の出版を記念したブックトークイベント(「大統領図書館からアメリカを考える」)を行った。

7月と9月に高校生向けの模擬授業を行った。